

令和8年3月2日

一般社団法人山口県労働基準協会 会長 殿

山口労働局労働基準部健康安全課長

労働災害防止のためのピクトグラムの活用等について（協力依頼）

平素より労働基準行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年の山口県内における労働災害の死傷者数（休業4日以上）は、1,368人（速報値）と、過去10年で最多であった令和6年（確定値）1,360人を上回りました。特に、第三次産業における転倒災害や、建設業、運輸交通業における墜落・転落災害が多発しており、労働災害防止対策の取組の強化が必要なところです。

山口労働局では、こうした現状を踏まえ、誰にでも直感的に危険が伝わる「ピクトグラム」を作成し、別紙のとおり公表しました。

つきましては、「ピクトグラム」を、事業場における自主的な労働安全衛生対策の促進や、働く人一人ひとりの安全意識の定着に役立てるため、貴団体所属の事業者等への幅広い周知に御協力くださいますようお願い申し上げます。

※山口労働局ホームページ

ピクトグラムの掲載ページ URL 及び二次元コード

https://jsite.mhlw.go.jp/yamaguchi-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/nettyuusyouyobou_00003.html



令和8年3月2日（月）
【照会先】
山口労働局 健康安全課
課長 徳重 宏之
課長補佐 野崎 敏彰
（代表電話）083(995)0373

報道関係者 各位

令和7年の労働災害が過去10年で最多 「見える化」重視のピクトグラムで労働災害防止を呼びかけ

山口県内では労働災害が増加傾向にあり、令和7年における労働災害の死傷者数（休業4日以上）は、1,368人（速報値）と、過去10年で最多となりました。特に、第三次産業における転倒災害や、建設業、道路貨物運送業における墜落・転落災害が多発しており、労働災害防止対策の取組の強化が必要なところです。

山口労働局では、こうした現状を踏まえ、誰にでも直感的に危険が伝わる「ピクトグラム」を新たに作成しました。

本ピクトグラムは、文字情報に頼らず、誰にでも理解できるデザインとすることで、外国人労働者を含む幅広い労働者への安全意識の向上を図るものです。現場で起こりやすい労働災害や、特に注意が必要な作業内容を視覚的に示しています。

作成したピクトグラムは、山口労働局のホームページに掲載しております

（https://jsite.mhlw.go.jp/yamaguchi-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/nettyuusyouyobou_00003.html）。

自由にダウンロード可能ですので、事業場内での掲示や安全教育の資料等に広くご活用願います。



山口労働局では、引き続き、労働災害防止に向けた取組を進めてまいります。

【山口労働局ホームページ】

安全通路



労働者が安全に通行できるように一定の幅を確保した通路を設けましょう。

転倒（つまずき）注意



つまずきによる転倒災害を防止するため、通路の整理・整頓を行いましょう。

脚立からの転落注意



脚立の天板上や天板を跨いで作業をしないようにしましょう。脚立の片側に立ち、3点支持で作業を行いましょう。